

南岸低気圧・雪の歴史 と吾妻鏡

西沢 昭

南岸低気圧とは気象用語です。何が起きるかというと、春先におきる太平洋側の雪降りです。詳しくは「冬季、本州南岸を低気圧が通過することによる降雪」となります。この言葉は、2月頃になると、テレビの天気予報でよく聞かれるようになります。この本州南岸を通る低気圧は、関東南部で見ますと、低気圧の中心が、八丈島より北を通過するとたいていの場合から南からの暖気が入り雨となりますが、八丈島の少し南を通過すると、低気圧の北側に寒気が流れ込み、関東地方で雪になつたり、積つたりします。春先の雪ではいろいろな歴史事件が起っています。今回は昭和の春先の雪事件から、時代をさかのぼり、吾妻鏡の時代の気象状態までのことを書きます。

二・二六事件と雪について。昭和十一年二月二六日早朝の事件ですが、事件の場所、東京では二日

前に降った雪が融けずにあります。二三日の新聞の天気予報では、予報となつており、当時すでに春の初めに、南方を通過する低気圧は雪を降らせることが分かつていました。実際は二十四日午前四時過ぎから雪が降り、都心で三五センチの積雪となりました。この年は四日にも雪が降り、三一センチとくは「冬季、本州南岸を低気圧が通過することによる降雪」となります。この言葉は、2月頃になると、テレビの天気予報でよく聞かれます。この年は静岡で一〇センチの積雪と新聞にも載つて、再度の積雪であったようです。当然軍隊は雪の想定はしていたものと思います。

桜田門外の変。安政七年三月三日（1860年3月24日）朝、江戸は大雪が積もつて、春先の南岸低気圧による積雪です。水戸の浪士は襲撃を準備していた水戸の浪士は雪の想定はしていませんでした。しかし明け方からの雪のため、江戸城に向かう井伊家では刀が濡れないようにカバーをつけていて、これが敗因の一つといわれています。この時代では雪は降つてみ

くては分からなかつたようです。元禄にさかのぼると、有名な赤穂浪士の吉良邸討ち入りがやはり南岸低気圧による大雪でした。元禄十五年十二月十四日（1703年1月30日）は春の雪というには半月ほど早いですが、討ちは半月ほど早いですが、討ち入りの数日前に雪が積もり、当日は晴れでしたが、夜雪の上を歩くために、滑つたり、つま先が冷たく大変だつたと思われます。

このように、事件と南岸低気圧は「へー?」という一つの話題を提供してくれます。では時代をさらにさかのぼり、鎌倉時代の吾妻鏡には南岸低気圧による積雪はどういう状態で、そのことから何が分かるのでしょうか。気象の切り口で、吾妻鏡を読み解いてみましょう。

吾妻鏡にはその日の天気が書かれていることがあります。書かれていらないときもありますが、またまた期間が一定な文型で書かれていますので、複数の人が分担して書いているように見えます。ある人が書いた時にはその日の気象を記入したのでしょうか。建仁元年（1202年）から弘長三年（1263年）までの吾妻鏡の記録か

ド王修会」という団体名で、私はその日本支部のメンバーの一人であるので、これらにつき簡単に紹介したい。

⑦ ワールド王修会

知念先生が1979年（昭和54年）フランスで創設した。沖縄空手流派としては、首里手で小林空手流派に属する。

フランス・ポーランドを中心に、全世界約30ヶ国で、6000人以上の門下生を有する。

本部は沖縄・那覇市に置き、日本本土は日本支部（東京、埼玉、川崎）を中心に活動している。2年毎に300人強の会員が世界各国から集まるワールド王修会世界大会（World Oshukai World Cup）をフランス、ポーランド及び沖縄等で開催している国際色豊かなともいえる団体である。

⑧ 知念 賢祐先生

1944年、沖縄・伊江島生まれ。ワールド王修会・沖縄古武道・沖縄小林流空手道会長。

1976年、プロの指導者として、沖縄の文化遺産である沖縄空手・古武道を広めることを職業にしたい」という固い決意を胸に弱冠32才で単身フランス・パリ

に渡った。当時、沖縄空手家の海外雄飛といえばアメリカ行きが大半だったが、あえて誰も行かない西ヨーロッパに挑戦した。

一方空手はその当時、フランスはヨーロッパでも日本の競技空手の最盛期で沖縄伝統空手は皆無であつた。以降、様々な苦労・挑戦をし、40余年後の現在、世界約30ヶ国、200超えの道場、6000人以上の門下生を抱える空手組織の長として指導の第一線に立ち続けている。日本本土ではあまり知られていないが、フランスでは3人に1人は知っているとのことである。

3. むすび

① 練習概要

現在、沖縄空手の一流派である「ワールド王修会東京支部」の川崎道場で一回／週（原則として土曜日の午前中）レッスンを受けている。

シニアクラスで、初心者は私一人。基本的に一对一の個人指導である。

突き・受け等の基礎練習から、「普及型1」・「ナイフアンチ初段」・「平安初段」等の「型」及び組手

練習等を適宜織り交ぜて練習・指導を受けている。「型」の練習は半だつたが、あえて誰も行かない先生の真似をしながら行っているが、簡単に見えて実際にしてみると奥が深く、何回繰り返しても半分もできない状態でちょっと恥ずかしく、先生に申し訳ない感もありますが、「継続は力なり・あわてず、あせらず、あきらめず」と割り切つて続けようと思っている。

② レッスンの楽しみ及び効用
シニア空手もシニア世代の健康維持法としては、散歩、スポーツクラブ等でのヨガ・太極拳等と共通性があると思うが、基本的な相違は「向上心及び上達に対する楽しみ・喜び」が散歩・ヨガ等よりも何倍も多いことだと思う。初心者がゴルフのように、遅々ではあるが、進歩・上達していくことの喜び・楽しみが身体及び脳の活性化をもたらし、より楽しい生き甲斐の一つとなつていくように思えます。

- ③ 川崎道場の紹介
沖縄空手に興味のある方は、下記に連絡してください。
hitec_pipe_meida@yahoo.co.jp
道場長名：平山 徹夫
英社
以上

【筆者紹介】

平成28年入会。三重県生まれで、現在横浜市神奈川区在住。歴史が何となく好きで入会しました。横歴の月例発表会のレベルの高さに感心すると共に、毎回を楽しみにしております。

参考とした書籍等

- 1) ワールド王修会 東京支部
ホームページ Wikipedia 空手道

- 2) 空手道型大鑑（空手史の考察）：坂上隆祥著、日本空手道系洲会総本部
3) 空手道歴史年表：外間哲弘編著、沖縄図書センター
4) ワールド王修会 世界大会パンフレット
5) 義珍の拳：今野 敏著、集英社

索すれば、ワールド王修会東京支部の詳細を見るることができます。